

積雪期登山講習会・指導員研修会 開催のお知らせ

所属会員の皆様におかれましては、日頃より岳連活動に関しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが、平成 30 年度積雪期登山講習会・研修会を次の通り開催します。また、当講習会に併設して指導者研修会を実施いたしますので併せてご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。（指導員各位への案内はこの案内にて代えさせていただきます。）

記

積雪期登山講習会

- 1.趣 旨 積雪期登山の安全登山普及と技術向上を目的とする
- 2.主 催 埼玉県山岳連盟（主管 埼玉県山岳連盟 指導委員会）
- 3.期 日 平成 31 年 2 月 9 日（土）～2 月 10 日（日）一泊二日
- 4.会 場 那須岳周辺もしくは講習会に適した場所
- 5.参加資格 埼玉県山岳連盟所属会員または岳連が認めたもの
- 6.指導講師 クラス別講師（埼玉県山岳連盟所属）日本スポーツ協会公認指導員
- 7.宿泊場所 雲海閣 栃木県那須郡那須町湯本 63 電話番号：0287-76-2016 F A X 0287-76-2977
- 8.日 程（日程、時刻は天候その他により変更あり）
2 月 9 日（土） 集 合 11:00（旅館雲海閣 大広間）荷物を持って大広間に集合してください
開講式 11:30・・・実技講習出発 11:45・・・実技講習終了帰宿 16:00・・・座学 16:30
（大広間にて）・・・入室、入浴 18:00・・・夕食・懇親会 19:00・・・
2 月 10 日（日） 朝 食 7:00・・・二日目実技講習出発 8:00・・・実技講習終了帰宿 13:30・・・
閉講式 14:00（解散）
- 9.装 備 積雪期登山の服装で次の用具を持参のこと
アゼン、ピッケル、ハネ、ヘルメット、ザクザク、サングラス、ジャケット、オバ-パンツ、ロングブーツ、目出帽、手袋、防寒着、水筒、筆記具、テルモス等その他、ロープ（2～3 名に 1 本）
- 10.食 料 行動食（昼食）2 食分、非常食、嗜好品、夕食時副食、アルコール
（今回の宿は自炊になります。少量のお酒も用意いたしますがお酒はすべて持参ください）
*炊事に関して交代で片付け等お手伝いいただきますので宜しくお願いいたします。
- 11.参加費用 15,000 円（一泊 2 食付宿泊費含む。内、講習費 2 日分 8000 円）
指導員資格保持者は、宿泊費の 7,000 円のみ
- 12.申し込み先 指導委員会（担当 野村）まで郵送・メールしてください。事前振込み
*駐車場が狭いので、なるべく乗り合わせにて集合をお願いします
郵便局 記号（10310）番号（68909771）ホリエノブコ（県岳連 堀江さんの口座になります）
〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東 1-15-34
野村 善弥 宛 FAX 048-885-1470 eメール ynom36@ybb.ne.jp
- 13.申込締切 1 月 25 日必着（宿への人数予約と名簿作成のため）山岳保険加入は基本条件
- 14.募集人員 20 人 先着で定員になり次第締め切ります。
- 15.講習内容 経験レベルに応じたクラス分け講習（講習教程参照）

積雪期登山講習会・講習教程

◆ 講習クラス

- 1 初級クラス : 積雪期の登山は初めてか、それと同等の者。ロープの結束も不安な方
- 2 中上級クラス : 積雪期登山の経験者(雪上技術全般とロープ操作の習得者)
- 3 指導員研修クラス、上級指導員研修クラス、指導員研修クラス

◆ 講習科目

各クラスとも講習場所を選定後、安全確認と危急時の対策を立てて講習に入る。

- 1 初級クラスは 1～10 と一部ロープワークを講習する。
- 2 中上級クラスは 9～12 を講習する。
- 3 指導員研修クラスはレベルに応じたクラスでの指導員研修を実施。

◆ 講習内容

1 服装の知識

- ①アンダーウェア(上下・下着)
 - ②インナーウェア(上下中間着、手袋、靴下)
 - ③アウターウェア(上下ジャケット、スパッツ、オーバー手袋、帽子)
- ◆保温、行動性、素材、選び方、レイヤードについて講習する。

2 用具の知識

- ①ピッケル(用途に応じたタイプの選定と、ピッケルバンドについて)
 - ②アイゼン(用途に応じたタイプの選定と、アイゼンバンド及びメンテナンスについて)
 - ③ブーツ(冬山用)(用途に応じたタイプの選定)
 - ④ロープ(用途に応じた選定)
 - ⑤ハーネス(用途に応じた選定)
 - ⑥ザック(用途に応じた選定)(機能と防水性)
 - ⑦スコップ(必要性和タイプの選定)
 - ⑧ツェルト(必要性和タイプの選定)
- ◆目的、機能、素材、携行、選び方などを講習する。

3 緊急避難 : 状況判断による決定とタイミング。

- ①雪崩・雪庇・強風雪・ホワイトアウトなどの危険認識と、低体温症の対策。
 - ②避難場所の選定・構築方法・用具の使い方。
- ◆緊急避難の理論を講習する

4 雪上歩行の基本 : 平坦地での雪上歩行の基本動作。

- ◆雪面(凹凸)と、靴底の摩擦力を使った効果的な方法について講習する。

5 アイゼン無しの雪上歩行 : 緩斜面での登下降・トラバース・斜、登下降・方向転換。

- ◆雪質を考慮した足の置き方・運び方・重心位置・姿勢・歩幅、ピッケルとの連携について講習する。

6 キックステップ : 急斜面での登下降・トラバース・斜、登下降・方向転換。

- ◆傾斜を考慮した足の置き方・運び方・重心位置・姿勢・歩幅、ピッケルとの連携について講習する。

7 アイゼン歩行 : 着脱のタイミング・場所・方法・安全確認。

◆歩行の基本(姿勢・歩幅・重心位置・フラットフィッティング・フロントポイント)について講習する。

8 耐風姿勢 : 風の特徴(方向・強さ・場所)と行動の限界を知る。

①初期の体勢・軸足と三点支持・体の向き・下降時の反転動作。

◆基本モデルを学び、実践講習をする。

9 急雪面での行動 : ステップ・カッティングと、ピッケルのダガーポジション。

①ステップカッティングの方法と位置。

②ダガーポジションの方法と姿勢。

◆意義・方法について講習する。

10 滑落停止 : あらゆる滑落に対する瞬時の行動。

①ピッケル無しの場合(摩擦、エッジングで止める)

②ピッケルを使った初期制動。

③ピッケルによる方法(ピッケルの持ち方・構え方・姿勢)

④反転動作の方法と体重のかけ方。

⑤停止後の安全確保。

◆基本モデル・応用と実践を講習する。

11 スタカットクライミングの支点構築 : 支点強度の確保。

①支点構築場所の選定。

②支点構築の方法(立ち木・アンカー・スノーボラード・雪中埋没)など。

③用具(スノーバー・デットマン・ピッケル・ストック・スキー・土嚢袋)など。

◆基本モデルを学び、構築した支点強度が十分であることを確認する。

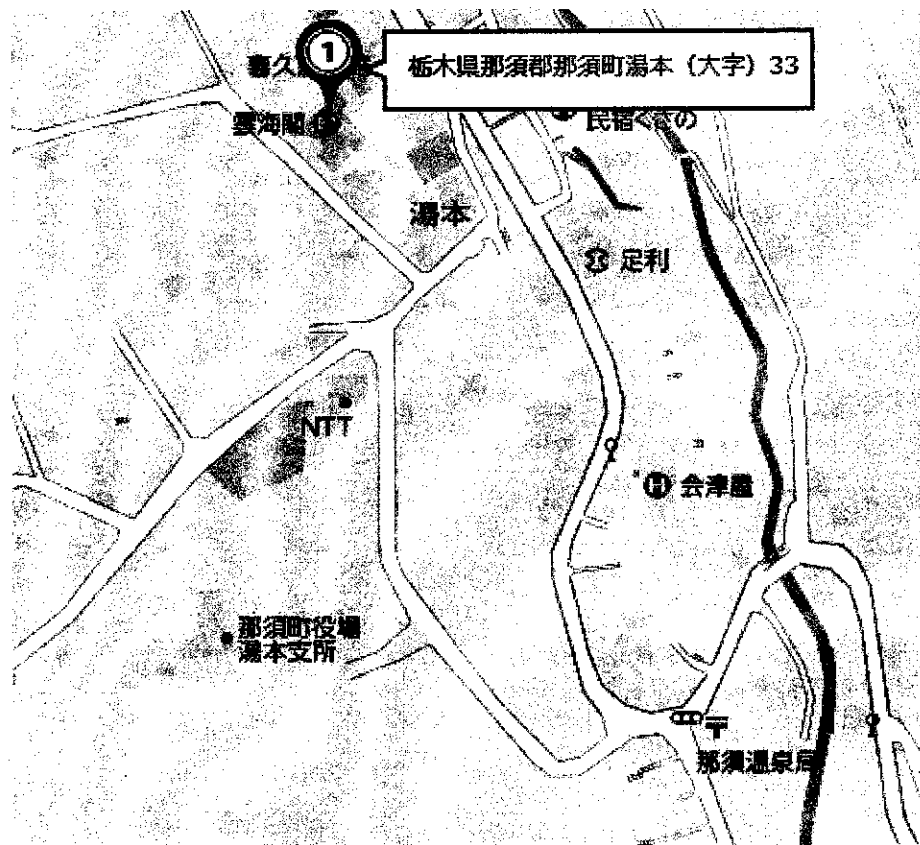
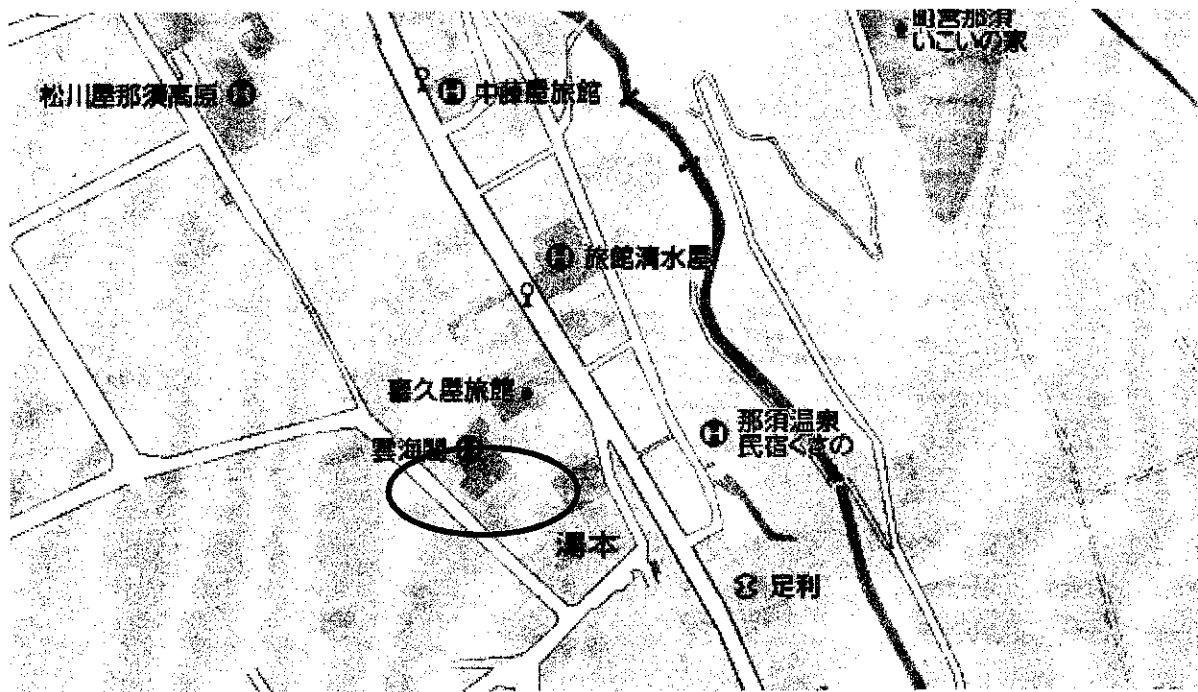
12 ロープ確保 : 雪上での確保の実際を学ぶ。

①用具(ロープ・ハーネス・確保器・スリング・カラビナ)

②確保の方法 ダイナミックビレー(腰がらみ・スタンディングアックスビレー)

③セルフレスキュー(確保からの自己脱出、及び引き上げ)

◆基本モデルと隔時登攀の制動確保を講習する。



積雪期登山講習会・指導員研修会 申込書

(左の希望参加クラスの欄に初級、中上級、研修のどれかを記入)

下記フォームをデータにてご希望の方は ynom36@ybb.ne.jp にメールしてください。

FAXの際は必ず送信の確認の電話をお願いいたします。(FAXの不具合の可能性があるので)

メールの場合は返信が無い場合問い合わせをお願いいたします。

TEL&FAX (048)885-1470 携帯 090 - 4847 - 7750 指導委員会 野村 善弥

交通の手配(車の乗り合わせができない方は、ご一報ください)

埼玉県山岳連盟 指導委員会宛

希望参加 クラス	氏 名 生 年 月 日	年 齢	性 別	住 所 〒 電 話 番 号	積雪期登山経験に○印
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上
	(. .)			(〒 -) (- -) 緊急連絡先 TEL()	初・中上

* 申込金の振込みは所属会毎にまとめて送金お願いいたします。

(指導員の方、7,000円 宿泊費含む)

(その他の方、15,000円講習費・宿泊費含む) 学生は11,000円

所属団体名 _____

平成 年 月 日

責任者 _____

「平成30年度・クリーン登山」報告書

平成30年9月30日

主催：埼玉県山岳連盟 主管：自然保護委員会

環境月間に自然保護委員会主管にて『埼玉県・関東ふれあいの道及び県立自然公園』クリーン登山を実施いたしました。期間5月15日～6月30日；参加団体数は20(15)、参加人数は205(192)名でした。

今回、集計報告が遅れました事をお詫びしますと共に、埼玉県山岳連盟加盟各山岳会(部)の皆様の御協力に感謝いたします。今年度の反省点としては、実施山域コースが長いとのご意見もありました、次会から考慮の必要を感じました。※()は前年度

自然保護委員長 増田 修

—記—

- 開催期日：平成30年5月15日～6月30日までの間 参加山岳会(部)の都合により開催
- 場所：埼玉県内の関東ふれあいの道及び埼玉県立自然公園全域内登山・ハイキングコース
- 予定コース：21コース

『関東ふれあいの道』 1) 水源のみち、2) 古刹を訪ねるみち、3) 伊豆ヶ岳を超えるみち、4) 峠の歴史をしのぶみち、5) 大霧山に登るみち、6) 秩父盆地を眺めるみち、7) 義経伝説と滝のあるみち

7コース(1～7)

『推奨コース』 8) 東吾野駅…長尾坂…天覚山…吾野駅、9) 高麗駅…日和田山…北向き地藏、10) 高麗駅…物見山…宿谷の滝、11) 鎌北湖周辺、遊歩道周辺、12) 越生…無名戦士の墓…大高取山、13) 名郷…大持山…鳥首峠、14) 名郷…武川岳…二子山、15) 芦ヶ久保駅…丸山…大野峠、16) 生川…武甲山…橋立鍾乳洞、17) 永田大杉…多峯主山…天覧山、18) 円良田湖周辺・鐘撞堂山周辺、19) 仙元山…周辺、20) 馬上…牛首峠…観音山、21) 小鹿野町二子山周辺 14コース(8～20)

実施結果は以下の通りでした。

No	山行日	所属先	実施報告者	人数	主な山・山域
1	5/20・日	壁稜山岳会	小久保 豊	6人	風戸～破風山～水潜寺
2	5/25・金	TEAMやまあるき	田本 真砂子	6人	天狗山～破風山～大淵登山口
3	5/30・水	蓮田山岳会	熊谷 潔	3人	円良田湖～鐘撞堂山～東高山
4	5/31・木	川越山の会・五十雀	岩井田 正昭	6人	野上～牛出峠～いろは橋(雨中止)
5	6/2・土	桜草山の会	堀江 伸子	6人	越生～大高取山～虚空蔵尊
6	6/2・土	草加山の会	森 律子	11人	名郷～武川岳～二子山
7	6/2・土	大宮山岳会	佐々木 清平	7人	折原～仙元山～白髭神社
8	6/3・日	川口市山岳連盟、UD・A・C 合同山行 川口市登山同好会	岩武 成秋	31人	A：伊豆ヶ岳～子の権現、B：黒山三滝～顔振峠、C：東吾野～天覚山～大高山
9	6/3・日	東部登高会	山下 真澄	17人	高麗～日和田山～ユガテ
10	6/3・日	大宮アパインクラブ	下村 美和子	10人	一の鳥居～武甲山～一の鳥居
11	6/3・日	エコ山会の会	詫摩 幸照 永井 美紗子	17人 27人	A：伊豆ヶ岳～子の権現、B：吾野～顔振峠 ～諏訪神社
12	6/3・日	毛呂山山岳会	平野 新一	10人	鎌北湖～大谷木川遊歩道
13	6/3・日	川口市登山同好会	増田 修	5人	大陽寺～霧藻ヶ峰～お清平
14	6/6・水	大宮アパインクラブ	石倉 昭一	6人	市営駐車場～天覧山～岩場周辺
15	6/8・金	深谷山岳会	相馬 英夫	4人	寄居～谷津池～
16	6/17・日	大宮岳稜会	鈴木 聖志	11人	芦ヶ久保～丸山～大野峠
17	6/17・日	加須市山岳連盟	道浦 陽司	12人	高麗～日和田山～北向地藏
18	6/22・金	川越山の会・五十雀	岩井田 正昭	1人	いろは橋～横隅山～更木
19	7/1・日	川越山岳会	横内 鉄郎	6人	中津川大若沢～勘兵衛の滝～遊歩道
20	7/9・日	大宮アパインクラブ	香川 優子	1人	丸山主山周辺公道
21	7/17・火	浦和西岳友会	渋谷 直克	2人	竹寺～子の権現～吾野

参加団体	参加人数	全取得ゴミ分析				
		空缶	空瓶	ペットボトル	可燃ゴミ	その他・不燃ゴミ等
20団体	205人	153個	41本	66本	33.4kg	約10.0kg

埼玉県山岳連盟 名称変更及び法人化検討委員会 第 1 回 報告

期日：2018 年 (平成 30 年) 11 月 5 日 (月)

場所：シーノ大宮 9 F 学習室 3

出席：石倉 相澤 加藤 天野 宇津木 土屋 横内 道浦

1. 名称変更について

- ・名称変更をした岳連は現状全国で 6 県 (鳥取、岡山、広島、山口、鹿児島) 検討中? (岩手、新潟、長野、石川)
- ・中央団体がすでに変更している以上 ((公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会) 下部団体として変更することは避けられないのでは。
- ・名称としては上部団体に倣った形で考える。(埼玉県山岳・スポーツクライミング連盟)
- ・法人化と同時に変更か? →法人化は課題も多く時間が必要なため名称変更が先と考える

2. 法人化について

- ・法人化している団体は現在全国で 4 県 (東京、大阪、岩手、広島) *東京は公益社団法人
- ・法人化自体は手続きも 2~3 週間で困難ではないが、役員や体制なども変わるため埼玉岳連の実情にマッチした体制や組織作りを考えるほうがかなり難しい作業となるいことが考えられる。(機関設計)
- ・法人化した場合、個別の山岳会はこれまでとさほど変化や影響はないと思われるが、役員はかなり煩雑な事務手続き・決算等が増え相当な負担増が考えられる。
- ・事務所の登記が必要なため、県内に設置の要あり。個人宅も可だが、永続的に使える場所がベター。スポーツ総合センター内に貸室あり (要調査)。いずれにせよ賃料が問題か。
- ・魅力的な組織づくり、基盤づくりができなければ法人化の意味がないのではないか。
- ・メリット、デメリットを整理すべき (以下当日挙げられた項目)
 - メリット 組織が整理される 助成団体等からの助成金が受けられる
 - 任意団体の場合、訴訟が起きたときなどに個人 (会長等) に責任がいく
 - デメリット 役員の負担増 財政が悪化する?
- ・法人化する意義が明確にされなければ賛同を得られない
社会の中でスポーツや競技団体に対する目が厳しくなっている現状の中で、組織のガバナンスが問われる時代となった。組織を見直し基盤づくりをするのに法人化が必要ではないか。

3. 今後について

- ・検討委員会としては名称変更、法人化ともに実施する方向での検討、協議を進める。
- ・岳連内の意見収集 (アンケート) を行う。
- ・法人化の実務について諸手続き、課題、問題点の調査 (担当：道浦)
- ・法人化の役員・組織の検討 (機関設計) 素案作成 (担当：横内)

4. 次回検討委員会

- ・12 月 19 日 (火) 19:00~ シーノ大宮 9 F 学習室 1

埼玉県山岳連盟 名称変更及び法人化に関する意見収集

記入日 平成 年 月 日

0. 該当する項目をお選びください

埼玉県山岳連盟所属

(参与 評議員 各会事務局 県岳連常任理事 県岳連理事 一般会員 個人会員)

1. 名称変更について

(1) 以下の事項で該当する事項をお選びください

名称変更

(賛成 どちらかといえば賛成 どちらともいえない どちらかといえば反対 反対)

(2) 上記のお答えに理由があればご記入ください

(3) 名称変更についてご意見をお寄せください。(欄が不足の場合は別途用紙を追加してください)

2. 法人化について

(1) 以下の事項で該当する事項をお選びください

法人化に

(賛成 どちらかといえば賛成 どちらともいえない どちらかといえば反対 反対)

(2) 上記のお答えに理由があればご記入ください

(3) 法人化についてご意見をお寄せください。(欄が不足の場合は別途用紙を追加してください)

※ご協力ありがとうございました。

1. ご意見等はデータで別紙にご記入の上、ご提出いただいても結構です。
2. この用紙のデータをご希望の方は事務局または理事長までご連絡ください。

(埼玉県山岳連盟 名称変更・法人化 検討委員会)